



2020

国語

注 意

1. 試験時間は、8:50～9:40の**50分**です。
2. 問題は ㊦ から ㊧ まであります。
3. 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
4. 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
5. 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
6. 問題についての質問はうけつけません。
7. 試験が終わったら、解答用紙を裏返しにしておきなさい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

サク（佐久田）は、ハセ（長谷川）とチカ（近田さん）と仲のいい中学一年生である。彼は内気で自分の気持ちを伝えることが苦手な少年である。ある日サクは、いつも自分のことをバカにしてくる枝野に、最近チカと遊んでいることについてからかわれた。それに対してサクは、「チカとは遊んでやっている」と素直になれずに言い返した。ところがその発言をチカに聞かれ、彼女を傷つけることとなりケンカになってしまった。

翌日、熱は無事下がったらしく、近田さんが学校に来た。

「お、チカ、復活したか。昨日心配して見舞いに行ったんだぜ。な、サク」

朝の教室で顔を合わせるなりハセは言った。

「あ、うん、ありがとう、ハセ君」

と近田さんは言った。

「おはよう、近田さん」

と僕も言ってみた。

しかし近田さんは僕とは目を合わせようとしなかった。

ハセが首を傾げた。「ん？」

「なんだ？ 二人とも、ケンカでもしてんのか？」

「いや……」

① 僕は口の中でも「も」言った。

近田さんは、うつむいて何も言わない。

「おいおいなんだよ。もしかしてほんとにケンカか？ さっさと仲直りしろよ」

ハセは勝手にケンカだと受け取ったようだった。

「そんなんじや長谷川調査隊の活動に支障が出るぜ」

「……………」

少し離れたところで僕たちのやりとりを聞いていた枝野が、仲間とバカにしたように笑い合っているのが見えた。

「おまえら、今日じゆうに仲直りしとけよ」

ハセは一方的にそう言って、自分の席へ戻っていった。

「近田さん」

声をかけたけど、近田さんは僕を無視して自分の席についてしまった。

ホームルームの時間になり、角田先生がやってきて連絡事項をいくつか伝え、残りの時間は合唱の練習になった。

本番を三週間後に控え、僕のクラスの合唱は順調に仕上がってきていた。ただ、僕とハセのいるテノールがやはり弱かった。それは、枝野たちが声を出さないからであることは明白だった。そこが改善されればもっとバランスがよくなるし、気持ち的にもぐっと一体感が出るはずだった。

一度、通して歌い終えて、指揮者を務めるルーム長が案の定、

「テノール、もうちょっとがんばって」

と言った。

続けてハセも言った。

「枝野たち、頼むからそろそろやる気出してくれよ」

「長谷川調査隊なんて小学生みたいなことしてるやつに言われたくないな」

「おまえなあ……………」

「隊員はおまえと美術部と近田だろ？ 活動内容は水切りだっけ」

と枝野は言った。

「いまはそんな関係ないだろ？」

② ハセは、怒るといふよりは、呆れているような顔をした。

A 的でない枝野に対して、角田先生は怒るわけでもなく、ゴリラみたいな顔の下で腕を組んで、黙っている。③ 僕と目が合ったよ
うな気がした。

枝野は調子に乗って、例のへらへら笑いを浮かべながら、

「水切りして遊んでるようなガキっぽいやつらと並んで合唱なんてダサイことやっつけられるか」と言った。

ハセは呆れきっているのか、言葉もなかったため息をついた。

角田先生は沈黙。

近田さんは、かたい表情をしている。

いま、突っ立って、誰かが何かを言ってくれるのを待っていたら、僕はきっと、近田さんの信頼を取り戻すチャンスを一失うだろう。枝野、と僕は言った。

「なんだよ美術部」

枝野の目が、僕のほうに向く。

クラス全員分の目も、僕に集まる。

「水切りって、そんなにガキっぽいか」

「なんだ？ ガキって言われたの、そんなに気にしてんのか？」

「枝野は知らないかもしれないけど、水切り、すごく楽しいよ」

枝野は、ぶっとふき出した。

「おまえ、どんだけ水切りにこだわってんだよ」

「へらへらして、みんなの足引っ張ってる枝野のほうが、よっぽど子供だと思う。恥ずかしかってないで、合唱くらいちゃんとやれよ」

④ 枝野の表情が強張った。動揺が最初に来て、それから怒り、屈辱が順番にその顔に表れて、⑤ 最後に赤くなった。何か言い返してくるかと思ったが、枝野は、

「お、おまえ……」

と言うばかりで、周囲を見回してクラス全体の非難の目に気づき、黙った。

まさか僕にクラス全員の前で X たてつかれるとは思っていなかったで、ショックがでかかったのだろう。それでも何かしら反論をしたかったようで、び、美術部のくせに……と内容のなさそうなことを言いかけたところで、パン、と手を叩く音がした。音の主は角田先生だった。「先生が口出さなくてもちゃんと議論ができるなんて、いいクラスだなあ。この調子なら、金賞も取れそうな気がするな」

なあ、枝野、と角田先生は Y あっけらかんとした顔で言った。

枝野はうつむいて、黙った。

僕は包帯を巻かれた右手を見た。

⑥ 仕返しに怪我させてやろうなんて、絶対、間違ってる。

⑦ なんで、最初からこうしなかつたんだ、僕。

「じゃ、ルーム長、合唱練習続けてくれ」

角田先生の言葉で合唱練習が再開されたが、朝の練習時間は短いし、枝野がけっこう時間を無駄にしてくれたので、ワンコーラス歌ったところで終わりになった。と同時に、⑦ ハセが無言で、グーにしたこぶしを僕のこめかみにぐりぐりとやってきました。

「な、なんだよ、やめろよ」

しかしハセはぐりぐりを、しつこくやってくるのだった。

それから、一時間目が始まるまでの短い時間に、僕のもとに、クラスメイトが何人も駆け寄ってきた。

「スカッとした。佐久田君ありがとう。前から枝野にはうんざりしてたんだよ」

「……ああ、うん」

僕は、クラスのためではなく、

B

がなくなる、ということをおそれ言っただけなんだけどな、と思った。

(小嶋陽太郎『ぼくのとなりにきみ』による)

(注1) 長谷川調査隊：ハセが隊長を務める、サクとチカの三人で組まれた探検隊。

(注2) 美術部：枝野がサクを呼ぶときの呼び名。サクは入学当初美術部に所属していた。

(注3) 水切り：小石を投げて、水面をはずむように、とばす遊び。

(注4) 仕返しに怪我させてやろうなんて、絶対、間違ってる。：サクは以前、枝野にからかわれた腹いせに、彼の下駄箱げたばこに入っていた靴くつに画びようを入れようとした。しかし、入れる寸前に思いとどまり、ポケットの中で画びようにぎを握りしめた結果、自分の指さに刺さりケガを負ってしまった。

問一 波線部X・Yの語句のここでの意味としてもっとも適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

X たてつかれる

ア 説得される
イ 反抗される
ウ 呆れられる
エ 馬鹿ばかにされる
オ 嫌きらわれる

Y あっけらかんとした

ア ぼかんとした
イ すっきりした
ウ 堂々とした
エ 平然とした
オ 納得した

問二 傍線部①「僕は口の中でも」も「言った」とありますが、それはなぜですか。四十字以内で説明しなさい。

問三 傍線部②「ハセは、怒るといふよりは、呆れているような顔をした」とありますが、ハセはなぜ呆れているのですか。その理由を説明したものと最もも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 長谷川調査隊の活動をバカにされるも、水切りの楽しさを分かっていると感じたため。
- イ 合唱にまじめに取り組まないことを指摘されたのにも関わらず、関係ない言いがかりをつけて反論してきたため。
- ウ 合唱コンクールに向けて何度練習しても、枝野たちの声が一向に大きくならず、やる気の無さを感じたため。
- エ 内気なサクでさえもしっかり声を出して貢献しているのに、枝野たちが恥ずかしがって声を出さないため。
- オ やる気を出さない枝野に対して、自分以外のクラスメイトが誰も直接指摘をしてくれなかったため。

問四 空欄Aに入る言葉としても最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 消極
- イ 論理
- ウ 協力
- エ 義務
- オ 自主

問五 傍線部③「僕と目が合ったような気がした」とありますが、サクはどのような視線を受けていると感じたのですか。もつとも適当なものの中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 枝野とハセは放っておいて、コーラスの練習を引っ張って欲しいと、サクを後押しする視線。
- イ まとまりのないクラスの様子を見て、枝野を筆頭としたクラスメイトに対する呆れた視線。
- ウ 生徒の言い争いに教師が介入しては、彼らの成長につながらないと考えた角田先生が、周囲の空気をうかがう視線。
- エ 自分の意見を言えない人は、真面目に合唱に取り組まない枝野と同レベルだと、サクを責めるような視線。
- オ 今こそが自分の本音を伝えられるようになるチャンスだと、サクに対して期待する視線。

問六 傍線部④「枝野の表情が強張った」・⑤「最後に赤くなった」ときの枝野の心情を、それぞれ自分の言葉で説明しなさい。

問七 傍線部⑥「なんで、最初からこうしなかったんだ、僕」とありますが、サクは最終的にどうすることができたのですか。本文全体の内容を踏まえて、五十字以内で答えなさい。

問八 傍線部⑦「ハセが無言で、グーにしたこぶしを僕のこめかみにぐりぐりとやってきた」とありますが、この時のハセの心情を説明したものとしてみても、最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 長谷川調査隊をバカにされたことにおこって反論したサクに対し、仲間として誇らしい気持ちになった。

イ 枝野との言い争いの中で、いいところをサクに持っていかれてしまい、少し悔しい気持ちになった。

ウ クラスの悩みの種となっていた枝野を退治し、きつと合唱が上手くいくだろうと期待にあふれる気持ちになった。

エ 以前からは想像もつかないサクの勇気ある行動に、友人としてとても喜ばしい気持ちになった。

オ サクが合唱に熱意を持って取り組んでいたことに気がつき、クラスを引っ張って欲しいと応援する気持ちになった。

問九 空欄Bに入る言葉を、文章中から二十字以内で抜き出しなさい。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

科学への強い「依存」と「不信」という矛盾した感情が、若い人々に広がる超能力や超科学へのあこがれに結びついているようです。自分で決心しないで占い・お告げ・霊視・大予言などに頼り、^①物理的に不可能な空中浮揚やトランスポーションを信じたり、実体のない守護霊やオーラが存在するかのよう思う心理のことです。このような心理が「科学の時代」に広まっているのはどうしてなのでしょうか。現代科学を「超える」という幻想で、わからないことへの不安を取り除かれるかのような気分になり、同時に、神秘の世界に逃げ込むことにより、それ以上深く考えなくてもすむという「安心」感も得られるからではないかと思われます。

むしろ、科学だけが原因なのではなく、学歴が将来を決定し、会社や上役のいうことに服従して生きねばならず、変化の可能性がなかなか見えにくい、現代という時代が背景にあります。歴史的に見ても、混同として将来のことがよく見えない時代になると、超能力を看板にした宗教が流行しました。現在も例外ではありません。

② ② 科学の考え方や方法を身につけています。あまりに荒唐無稽な論理は、誰も信用しません。(中略) つまり、現代社会は、基本的な科学の

素養を身につけた人々によって動いていることが、かつてと大きく違っている点なのです。

I、問題があります。科学の内容があまりに日常を離れ、また難しくなっているため、自分たちには理解できないと感じられてしまふことです。専門家もわかりやすく解説してくれないし、本を読んでも難しい数式が平気で出てくる。科学が理解できる素地があるのに、科学が疎遠になっているのです。食べられるのに、食べないまま嫌いになる「喰わず嫌い」といえるかもしれません。それは、実にもったいないことですね。せつかく^③おいしいものがあるのに、食べずに放っているのですから。

私は、科学への「不信」や未来への「不安」を解消するための第一歩は、^④科学をもっと身近にすることではないかと思っています。「不安」を^(あ)訴えるだけでは、何も変わらないのです。現在地球上に生じているさまざまな矛盾を^(い)解決するには、やはり科学の力に頼らざるを得ないからです。つまり、私たちが現在抱えている問題の本質は何で、それにはどのような^X手を打てば解決できるか、を^A順序立てて考えることが大切なのです。

科学の力が大事だといっても、^⑤病人に次々と注射して、さらに病気を悪化させるようなことになっては何にもなりません。まず、一つの問題を、^(う)あらゆる角度から検討する必要があります。だから、「科学の専門家にまかせてしまっただけではいけない」のです。市民が一人一人、自らの頭で考えて意見を^(え)述べる、それによって^⑥専門家には見えない側面が明らかになるのです。

かつて、病気を治すためと称して、本人の同意を得ず、人体実験がなされたことがありました。あるいは、もはやナチスが原子爆弾を作っていないことがわかってからも、^(注)マンハッタン計画は推進され、科学者はそれに協力し続けました(ナチスが先に原子爆弾を^(お)作るかもしれないという理由で、マンハッタン計画が発したのです)。専門家は、自分たちが向かっている問題がおもしろければ、その解決が何ももたらすかには^Yおかないしに、研究に熱中してしまいがちです。^Bそれにブレーキをかけるのは、科学の内容を理解し、さらにそれが現実化したときに、どのような事態が引き起こされるかを判断できる知力なのです。このような専門家と市民の相互作用こそが、未来を明るくものにすることに違いありません。^C科学の考え方・進め方を知った市民となることが求められているのです。

II、^D現在のままの消費構造やエネルギー使用を続けていくなら、一〇〇年もたないうちに地球は行き詰まってしまふと思われる。資源やエネルギーが足りなくなるのではなく、それらの使い過ぎで地球環境が荒廃してしまうからです。^⑦では、私たちはどのような生活へ変えていかねばならないのでしょうか。そして、それをどのような道筋で達成すべきなのでしょう。

そう簡単には答えが出そうにないこの問題には、世界中の人々が知恵を出し合って話し合わなければなりません。むしろ、国内でも、

地域でも、合意が得られることが必要です。そのためには、**III** どのような手だてが必要なのでしょう。私は、**E** 手持ちのデータを駆使して、未来を予測することではないかと思っています。何ができないか、ある道を選べばどのような結果になるか、どこまでを許容できどこからは受け入れられないか、そのような予測を世界各国のみんなが慎重に検討し、一致できることから行動する、そんな手続が必要でしょう。ここに科学の力が生かせるのです。かつては戦争によって、強い国の論理が押しつけられてきました。そのような暴力ではなく、「**⑧**科学の知」が世界の未来を決定してゆくのです。

(池内了『科学の考え方・学び方』による)

(注1) 空中浮揚：超能力などの特殊な力によって、物体が空中に浮かぶこと。

(注2) トランスポーターシジョン：ここでは、瞬間移動する超能力「テレポーターシジョン」のことを指している。

(注3) 荒唐無稽：考えに根拠がなく、でたらめなこと。

(注4) 素地：もととなる土台の部分のこと。

(注5) ナチス：第二次世界大戦の際にドイツを率いていた政党の名前。アドルフ・ヒトラーによりユダヤ人虐殺などの政策が推し進められた。

(注6) マンハッタン計画：アメリカ合衆国などによる、第二次世界大戦当時の核兵器開発計画の名前。もともとはナチスに対抗するために核兵器が開発されたが、最終的には広島・長崎に原子爆弾が投下された。

問一 空欄Ⅰ～Ⅲに当てはまる適当な言葉を次からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|---|------|---|-----|---|------|---|------|
| ア | いったい | イ | 決して | ウ | しかし | エ | つまり |
| オ | やっぱり | カ | では | キ | このため | ク | おそらく |

問二 傍線部 X・Y のここでの意味として適当なものを次からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

X 手を打つ

- ア ある程度で妥協すること。
- イ 皆で協力をしていくこと。
- ウ 正しく見つけ出すこと。
- エ 十分に納得して行動すること。
- オ 必要な処置や対策を行うこと。

Y おかまいなし

- ア まったく気にかけないこと。
- イ 見なかったふりをすること。
- ウ 対応する余裕すらないこと。
- エ 一生懸命に集中すること。
- オ ひたすら隠し続けること。

問三 二重傍線部 (あ) (お) の言葉の中で、はたらきの異なるものを一つ選んで、記号で答えなさい。

問四 傍線部①「物理的に不可能な空中浮揚やトランスポーテーションを信じたり」・⑤「病人に次々と注射して、さらに病気を悪化させる」とありますが、これらの表現はどのようなことを述べていますか。その説明としてもっとも適当なものを次からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- ア 若いうちは、不安に思いつつも超能力を信じる矛盾した感情を抱きがちだということ。
- イ 「科学の時代」への不安から、現代科学を超えたできごとにあこがれる人がいること。
- ウ 現代という時代は変化が見えにくく、教育の不十分さから迷信を信じてしまうということ。
- エ 現代は科学に頼らざるを得ないため、ときには病気が悪化するリスクもあるということ。
- オ 専門家だけにまかせることなく、病人本人の同意を得ることが重要だということ。
- カ 科学の専門家たちが、結果が何をもたらすかも考えずに、研究に熱中してしまうこと。

問五 傍線部②「科学の考え方や方法」とありますが、これはどのようなものですか。その説明としてもっとも適当なものを次から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 現代に生きる人にとって身近で人気の高い、占いや超能力を生み出す理論のこと。
- イ 一般の人々にはなじみのない難しい数式や、物理学や化学の専門知識などのこと。
- ウ 誰もが学校で教えられた、観察や実験を主体とした理科の授業での思い出のこと。
- エ 迷信や超自然よりも、論理的な正しさを根拠として筋道を立てていく思考のこと。
- オ 超能力や迷信・心霊現象などを信じ込まずに、頭ごなしに否定できる教養のこと。

問六 傍線部③「おいしいものがあるのに、食べずに放っている」とありますが、このたとえばどのようなことを言おうとしていますか。四十字以内で説明しなさい。

問七 傍線部④「科学をもっと身近にすることではないかと思っています」とありますが、「身近に」で、できない場合はどうなってしまおうと筆者は考えていますか。六十字以内で説明しなさい。

問八 傍線部⑥「専門家には見えない側面が明らかになる」とありますが、なぜ「専門家には見えない」のですか。その説明として適当な一文を本文中から探し、最初の五字を答えなさい。

問九 傍線部⑦「では、私たちはどのような生活へ変えていかねばならないのでしょうか」とありますが、筆者はどのようにすべきだと考えていますか。その内容をこの傍線部以降の段落から、七十字以内でまとめなさい。

問十 傍線部⑧「科学の知」とありますが、筆者の主張する「科学の知」として不適当なものを本文中の波線部A～Eから一つ選んで記号で答えなさい。

三

次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① 貴重な本を借りてハイケンする。
- ② ギョコウから船が出発する。
- ③ 政治家がガイトウで演説する。
- ④ シラハタを挙げて相手に降参する。
- ⑤ 植物の実で布をソめる。

[問題はここまです。]

